

# 住民と子ら 新拠点で交流を

児童館の運営や放課後等デイサービスなどに取り組む認定NPO法人「フォーラムひこばえ」の新たな拠点施設が、京都市右京区宇多野福王子町に完成した。これまで複数の建物で事業を行ってきたが、一カ所に集約できるようになり、子どもたちや地元住民が交流しやすい場所に生まれ変わった。

2005年設立の同法人は、学

童保育やサークル活動などを実施し、宇多野地域や近隣学区の延べ千人以上が利用している。木造の事務所と付近の民家計3棟で活動を続けてきたが、老朽化が進み新たな拠点が必要になっ

た。10月に完成した建物は、木造2階建て延べ288平方メートル。図書や工作コーナーとして活用する複数の部屋があり、広場に面したテラスもある。事務所はカウンター付きのスペースになり、子どもや地

元住民らが利用できる。新設を機に、子どもに学校と家庭以外で過ごせる所を提供する「第三の居場所」事業も開始する予定。井上公子理事長(59)は「新たな建物を拠点に、今後も親子や障害のある人たちが暮らしやすいまちにしていきたい」と話す。

23日午前10時から完成記念イベントがあり、マルシェやステージ発表がある。法人は今後の運営に向けた寄付を募っている。問い合わせは075(463)04338。

(長谷川祐太)

## 23日に催し 「第三の居場所」事業も



①新しく建設された認定NPO法人「フォーラムひこばえ」の拠点施設(京都市右京区宇多野福王子町)②床や柱に木材を使った室内。学童保育のスペースなどになる予定

